

⑧【新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院】

住 所	〒940-8653 新潟県長岡市川崎町2041		病床数：500床
診療科目	内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、腫瘍内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、心療内科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、脊椎脊髄外科、リウマチ科、放射線治療科、臨床検査科、救急科、頭頸部外科（34科）		
研修責任者名	矢尻 洋一（院長）	連絡先：kenshu-4@nagachu.jp 0258-35-3700（代表）	連絡先担当者名：和田 博美（総務課長）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：0人、24年度：1人、25年度：1人、26年度：2人、27年度：2人、28年度：0人、30年度：1人、令和元年度：1人、2年度：1人、3年度：1人、4年度：1人 ・その他プログラム採用 平成23年度：8人、24年度：8人、25年度：8人、26年度：7人、27年度：8人、28年度：9人、29年度：9人、30年度：10人、令和元年度：10人、2年度：10人、3年度：10人、4年度：9人		
研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数	
必修：内科（内科、循環器、消化器、呼吸器、内分泌、糖尿病、腎臓、神経内科）、救急、小児科、産婦人科、外科（消化器、呼吸器） 選択研修：整形外科、眼科、放射線科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、腫瘍内科、麻酔科（いずれの診療科も4週間以上の研修期間が必要）	内科（血液）1人、内科（循環器）3人、内科（消化器）6人、内科（呼吸器）3人、内科（糖尿病）2人、内科（腎臓）1人、神経内科1人、小児科3人、産婦人科3人、外科（外科）10人、外科（消化器）5人、外科（心臓血管）1人、外科（呼吸器）1人、整形外科5人、泌尿器科2人、放射線科3人、麻酔科3人、脳神経外科3人、形成外科1人、耳鼻咽喉科2人	内科（血液）1人、内科（循環器）3人、内科（消化器）7人、内科（呼吸器）1人、内科（糖尿病）2人、内科（腎臓）1人、小児科3人、産婦人科2人、外科（消化器）6人、外科（心臓血管）1人、外科（呼吸器）1人、整形外科4人、泌尿器科2人、放射線科3人、麻酔科3人、脳神経外科3人、形成外科1人、耳鼻咽喉科1人	
施設の概説・特徴			
平成17年10月に長岡市街地より郊外に新築移転し、病床数500床で1日外来患者数1,600人を超える総合病院であり、長岡地区の中心的な医療施設となっております。紹介率40%以上を維持し、地域連携も密に行っております。 先進的な医療技術だけでなく、救急医療や地域に視点を置いたプライマリ・ケアが確実に行えるよう、必要な知識・技術・態度が身につけられるように、指導しております。平成18年8月がん診療連携拠点病院の指定を受け、平成22年12月には化学療法室を30床に増床しました。また、2019年4月より高度治療室（HCU）病棟12床の運用が開始されました。放射線治療棟による放射線治療の拡充も図ります。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：領域の全般にわたって高度な医療を実践している。循環器内科は急性期疾患の心臓カテーテル検査に力を入れ、消化器内科は内視鏡を用いた診断・治療や肝がんに対する集学的治療に積極的に取り組んでいる。呼吸器内科では肺炎や肺癌のように、日常臨床でよく遭遇する患者さんから、びまん性肺疾患の患者さんまで、幅広い患者さんの診療を研修できる。また気管支鏡から胸腔ドレーンの挿入まで、プライマリ・ケアにおいて役に立つ手技を研修できる。内分泌・糖尿病では糖尿病、甲状腺疾患、肥満症、動脈硬化症等の疾患群についての診療を担当している。多職種によるチーム医療の実際についてカンファレンス等を通して学ぶ。腫瘍内科では多癌種に対する薬物療法を行うこともACCPを含めた緩和医療にも取り組んでいる。腎臓内科では透析などに広く対応しており、内科全般の研修が十分に可能である。 神経内科：常勤医3名非常勤医2名で幅広く神経疾患を扱っている。病棟は脳神経外科と一緒に毎週合同カンファレンスを行っている。 小児科：小児科医5人で幅広く小児疾患を扱っている。感染症から喘息など、急性期疾患から慢性期疾患まで研修することが可能である。 産婦人科：分娩数は年間600件前後で、県内有数の数を誇っている。その他婦人科悪性腫瘍や更年期など幅広い領域の診療を行っている。 麻酔科：麻酔科医4人で全ての麻酔を担当している。 整形外科：外傷による急性期医療のみならず、整形外科全ての分野において、高いレベルの治療を行っている。 泌尿器科：泌尿器科癌に対する集学的治療および、結石に対しては碎石療法などを積極的に行っている。 眼科：主に内眼疾患（白内障、緑内障、網膜疾患）を中心に紹介を受けている。 脳神経外科：地域におけるあらゆる脳神経外科領域、特に、脳神経血管領域における中心センターの役割を果たしている。 消化器・乳腺・一般外科：毎日3～5件の予定手術があり、半数が腹腔鏡手術である。緊急手術は年間150件ほど行っている。 皮膚科：近い将来精度の高いAIに取って代わられてしまう日常診療にAIが不得意とするHuman Based MedicineとEBMを実践し患者に望ましい健康結果をもたらす診療を行っている。 形成外科：顔面外傷や、褥瘡、難治性潰瘍など創傷治療について学ぶことができる。 耳鼻咽喉科：中越地区の頭頸部の集約施設として頭頸部癌治療を行うほか一般耳鼻咽喉科診療も行っている。 放射線科：画像診断および放射線治療科があり、いずれも複数の専門医が診療を行っている。			
研修の概説と特徴			
当院での研修開始時期によって多少の差はあるが、4～6週間を一つの単位として各診療科を研修する。内科での研修は研修医と相談の上、希望する診療科を選択してもらい、研修先を決定する。全ての診療科で、マンツーマンの指導医を配し、適切な指導を行えるようにしている。 二年次の選択研修では上記の選択科から自由に選び、研修を自ら組立てる。			
研修医の当直			
研修1年目では、上級の当直医と共に診療にあたり、研修医は副直としてその任に当たる。診察・治療の見学から開始し、徐々に診療の補助を行っていくこととなる。研修2年目では、研修中の診療科指導医とともに当直を行うが、救急・夜間の患者のファーストタッチを行い、必要に応じて、指導医のアドバイス、指導を受けることとなる。週に2回、長岡市内の救急当番日を担当するが、内科医師、外科系医師及び研修医2人の計4人体制で当直にあたる。その他当直業務あり。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）350,000円（諸手当）、時間外研修手当 厚生連規定による、当直研修手当19,800円/回、通勤手当（内規による） 2年次（月額基本給）380,000円（諸手当）、時間外研修手当 厚生連規定による、当直研修手当19,800円/回、通勤手当（内規による） ●食事：昼食は職員食堂や売店が開店していて不自由はないが、夕食は外食あるいは出前となる。 ●宿舎：借り上げ宿舎 住居手当（家賃のみ月額50,000円の範囲内で補助あり）。 ●居室：研修医専用の研修医室あり。 ●図書・文献：各種資料検索のための図書室が常備されていて、各領域の主要学会誌も準備されている。 ●インターネット環境：インターネット接続が可能である。			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。